

たより



学び多き、有意義な夏休みを

夏休みがはじまりました。今年も伊勢市教育研究所では、教科指導、特別支援教育、学級経営など様々な講座を開催いたします。夏休みとはいえ、学校行事やクラブ活動等で忙しい毎日ですが、ぜひ積極的にご参加ください。

今年は、図工・体育などの実技を中心とした講座や、講師先生による師範授業を取り入れた教科指導の講座を充実させました。新しい発見や気づきを、秋からの教科指導に活かしていただければ幸いです。

また、先生方のやりがいのある意欲的な教育活動を支援するために、学級経営や教育相談、子ども理解等についての講座も開催いたします。さらに、情報モラルについては最新の情報をお伝えする講演会を開催します。

講座申し込みの締め切りは過ぎましたが、まだまだ定員に余裕のある講座もあります。受講を希望される方は、研究所までご連絡ください。

研修講座報告 [今年度すでに2つの研修講座を開催しました]

6月10日(日)十一 元三先生(京都大学大学院教授)

「医学からみた広汎性発達障害の子どもの特徴と
青年・成人期を見据えた支援のポイント」

京都大学大学院の十一先生をお招きした講演会では 202 名の方にご参加いただきました。十一先生から、次のような流れでお話いただきました。

「基本特性」の理解が出发点
「随伴特性」への配慮は重要
精神発達支援のポイント
児童精神医療との連携
将来を見据えた児童精神保健



参加された保護者のアンケートからは、広汎性発達障害について基礎的な理解を得られたことに対し、安心感を持たれたことが感じられました。また、幼稚園、保育所、学校現

場の先生方からは、早期発見の大切さ、先を見据えた教育支援の在り方についての意識が高まったという内容の感想を多くいただきました。講演の最後には具体的な症例をもとに、支援の仕方についてお話いただきました。

アンケートより

(一部抜粋)

【保育所】

保育所での子どもの対応がとても難しくなっています。そんな中で、今回の研修を受け、幼少期の変化を見過ごさない事の大切さを改めて痛感した次第です。

今も大切だが、先を見通しての支援の大切さがわかりました。

【保護者】

息子が先月診断を受けました。書籍は少し読みましたが、基礎的なPDDというものを理解したく受講しました。非常によく理解できました。親として、支援もこれからという段階ですので、お話を聞かせていただけて本当に良かったです。ありがとうございました。

娘に自閉的な傾向があると思い不安でしたが、先生の詳しい事例を交えたお話を聞いて気持ちが楽になりました。

【小・中学校】

内容が深く、詳しくだったので良かったです。医学的な面からのお話を聞いてよかったです。

とても興味深く聞かせていただきました。青年期・成人期を見据えてしっかりとサポートしていかなければと、気持ちが引き締まりました。

6月14日(日)直山 木綿子先生(文部科学省教科調査官)

師範授業と講演「コミュニケーション能力の素地をどう育てるか」



直山先生には平成22年度、23年度にも伊勢市でご講演いただきました。今年度は、師範授業をしていただき、それをもとに講演をしていただきました。

直山先生が体全体でリズムをとりながら単語を言うと、子どもたちは楽しそうにリズムをとりながら言葉を発していきました。

子どもたちの声は、だんだんとクリアにそして大きくなり、表情は生き生きとしていきました。子どもたちが授業の中で自然に変化していく様子に、参観者は感心させられました。また、子どもたちが英語のイントネーションやアクセントと日本語の違いに気づいていく過程も見られました。

講演会ではHi friendsの活用法等を教えていただきました。「伝える内容に中身がある」「相手を意識する」という2つのことを大事に取り組んでほしいとの話からはじまり、地域や学校、子どもの実態に合わせて新教材を作り変え、「学校のHi friends、学

級のHi friends」として、子ども達とともに中身のある活動を創意工夫してほしいと締めくくられました。

アンケートより

(一部抜粋)

英語ということでしたが、授業は学級経営がまず基本ということを改めて教えていただいた気がします。正義が通るようにというのは私も同感です。また、英語の授業づくりも普通の授業づくりも同じだと思いました。子どもを中心にいかに場面設定をして組み立てられるか、しっかりがんばっていかなくてはと思いました。

45分間でずっと自分の手の中に入れ込む力量、あの子ども達は英語に出会うたびに直山先生のことを思い出すことでしょう。

リズムと雰囲気大切に、児童も指導者も共にコミュニケーションを楽しめるよう授業プランを考えていきたいと思います。学習を通して未来をイメージできたらすてきです。



伊勢市教育研究所 夏の研修講座



【教育講演会】

日時	演題等	講師	場所
8月8日(水) 受付 13:30~	通常学級における特別支援教育 ~ユニバーサルデザインの視点から~	曾山 和彦 (名城大学准教授)	伊勢市生涯学習センター いせトピア
8月24日(金) 受付 15:15~	子どもを取り巻く情報社会の現状と課題(情報モラル) ~家庭と学校で守る子どもの安全~	中川 一史 (放送大学教授)	ハートプラザみその

【乳幼児教育専門講座】

日時	演題等	講師	場所
8月10日(金) 受付 13:45~	幼児期における豊かな人間関係づくり ~5歳児の協同性を育む~	篠原 孝子 (聖徳大学教授)	伊勢市小俣総合支所

【教職員研修講座】

日時	演題等	講師	場所
7月30日(月) 受付 8:45~	師範授業:二瓶弘行先生の師範授業(明野小学校6年A組) 講義:確かな読みの力を育む物語の授業づくり	二瓶 弘行 (筑波大学附属小学校教諭)	明野小学校

7月30日(月) 受付 12:45~	今日から使える書画カメラ・プロジェクター台の製作	東浦 道範 (宮川中学校教頭)	宮川中学校
7月31日(火) 受付 8:45~	体育科における協同的な学び	岡野 昇 (三重大学教授)	伊勢市生涯学習センター いせトピア
7月31日(火) 受付 12:30~	講義: いちゃもんを超えて ~保護者と向き合う気持ちと教職員の共同性~ ワークショップ: 保護者の立場に立つと、教師の態度にむかづく自分がある~エコロジカル・マップとロールプレイを通して学ぶ~	小野田 正利 (大阪大学大学院教授)	伊勢市生涯学習センター いせトピア
8月7日(火) 受付 8:45~	今日から使える書画カメラ・プロジェクター台の製作	東浦 道範 (宮川中学校教頭)	宮川中学校
8月7日(火) 受付 13:15~	理科授業づくりの基礎・基本~わかりやすい観察視点の与え方、成功する実験の仕方~	楠木 宏 (城田小学校教頭)	御園小学校
8月9日(木) 受付 13:15~	子どものつながる力を引き出す学級づくり~学級経営の指導の具体的なポイント~	赤坂 真二 (上越教育大学准教授)	伊勢市生涯学習センター いせトピア
8月10日(金) 受付 8:45~	授業に役立つICTスキルアップ講座	情報教育研究会	大湊小学校
8月17日(金) 受付 12:45~	授業に役立つICTスキルアップ講座	情報教育研究会	大湊小学校
8月20日(月) 受付 13:15~	コツがわかれば子どもが変わる! 子どもが夢中になる図画工作指導 ~手づくりおもちゃを中心に~	竹井 史 (愛知教育大学教授)	小俣小学校
8月21日(火) 受付 8:30~	師範授業: 細水保宏先生の師範授業(四郷小学校 5年) 講義: 「考える力・表現する力」が育つ算数・数学の授業	細水 保宏 (筑波大学附属小学校副校長)	四郷小学校
8月21日(火) 受付 12:45~	実技で学ぶ、ジャストスマイル・コラボノートの活用	民間ICT関連会社 講師	明野小学校
8月22日(水) 受付 13:00~	誰もが行きたくなくなる学級・学校づくり	栗原 慎二 (広島大学大学院教授)	伊勢市小俣総合支所
8月23日(木) 受付 14:15~	教師の元気アップセミナー	諸富 祥彦 (明治大学教授)	伊勢市生涯学習センター いせトピア

「今日から使える書画カメラ・プロジェクター台の製作」、「理科授業づくりの基礎・基本」の講座は定員オーバーとなり、受け付けを終了いたしました。